

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	スーパー（店長）	・季節が早く来ていることから、飲料やアイスなどの動きが良く、引き続き期待が持てる。
		家電量販店（営業担当）	・客単価が多少上昇してきているが、依然、来客数は前年を下回った状態が続いている。しかし、3月下旬から少し改善の兆しが出て来ている。
		旅行代理店（従業員）	・団塊世代の大量退職を控え、国内外への旅行需要が相当期待されており、店頭での相談などにもその傾向が見られる。社内旅行が少し回復してきており、6～7月ごろに実施したいとの相談が出て来ている。
		タクシー運転手	・お遍路さんがもう少し増えてくると、街中のタクシーが減り、1台当たりの仕事も増える。また、夜の状況も少し動いていることから、今後歓送迎会等もあり、少し期待できる。
		観光名所（職員）	・外国人観光客を始めとして、来客数がどんどん増えている。
		ゴルフ場（従業員）	・現在と昨年との状況を比べても、予約状況も含めて数字は良く、やや上向き傾向にある。
変わらない		一般小売店〔生花〕（経営者）	・私生活に使うものはホームセンターや大型店で買い、プレゼントや贈答品に使うものは専門店で買うなど、客の業態の使い分けが明確になってきており、全般的に消費が伸びるの見込みは無い。
		百貨店（営業担当）	・この2～3か月、良い物を買うという傾向は続いているが、一気に更に良くなるということは考えられない。今の、やや景気が回復している状態が少し続く。
		百貨店（営業担当）	・来客数増加による恩恵が一部の商品群に偏り、ファッション性の高い商品の動きが鈍い。また、宝飾品、美術品等の高額品も前年に比べ動きが少ない。
		スーパー（店長）	・客の話からも、定率減税の廃止など、悪くなることはあっても良くなることは見込めない。一層の節約に客の意見が傾いている。
		スーパー（財務担当）	・狭い商圈に中央の大手スーパーのショッピングセンターが4月に進出してくるなど、競争の激化は止まらない。
		乗用車販売店（従業員）	・ここ数年、新卒需要が減少する傾向にあり、期待ほどの販売量は望めない。景気全体も、変化が予想される要因が見当たらず、変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・2～3月の需要期を期待していたが、なかなか思うように販売台数が伸びず、この先、良くなる兆候は全く無い。
		乗用車販売店（管理担当）	・消費に関してガードが堅い。
		住関連専門店（経営者）	・販売量がなかなか伸びない。
		一般レストラン（経営者）	・新規オープンの店が増えたため、リピーターとして戻ってくるのに時間が掛かる。
		都市型ホテル（経営者）	・予約状況等はそう変わっておらず、景気も変わらない。
		観光名所（経営者）	・食事予約が少し増えてきた。
		設計事務所（所長）	・福祉分野など一部の分野では成長が感じられるが、まだまだ限定されている。
	住宅販売会社（従業員）	・ここ3か月程度、展示場の来客数や商談数は大きな変化が無く、これからの数か月も大きな変動は無い。	
やや悪くなる		商店街（代表者）	・春物のスタートはなかなか良かったが、春休みになって集客力、来街数がかなり落ち込んでいる。夏物のスタートについても、郊外店の攻勢が一層強くなりそうなことから、なかなか明るい見通しは無い。
		コンビニ（エリア担当）	・非常に競争が厳しい中で、来客数・客単価は前年を下回っている。客の様子を見ると、特に土木・建築関係は、とにかく景気が悪いと言っている。景気が良くなる材料を、我々の身の回りでは感じる事ができない。
悪くなる			
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・原料高によるコストの上昇は、価格修正で何とか対応できた。今後は新商品が売り出されるので、良くなっていく。

	輸送業（役員）	・耐震対応工事による公共施設の移転作業や、アジアマーケットへの輸出入増に加え、原油価格高騰も下火になり、物流環境は上向く。		
	通信業（営業担当）	・訪問している企業のマネージャークラスの、景気に対する強気な言葉を、半年前に比べると特に今月は多く聞く。また、客の中に、システム提案を前向きに検討してくれる姿勢が見えてきた。		
変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	・建設用クレーンは、来期以降も高稼働が期待され、首都圏では来期工事予定のリース料金について上方改定の動きが見られる。		
	電気機械器具製造業（経営者）	・仕事はあるが後ろ向きの仕事であり、景気が良くなるといようなものではない。		
	電気機械器具製造業（経営者）	・受注量に大きな変化が無い。		
	輸送業（支店長）	・引き合い、案件はあるが、いずれも小規模のものであり改善材料としては少し物足りない。		
	金融業（融資担当）	・一部の製造業を除き、すべてが停滞しており、今後、良くなる兆しが無い。		
	広告代理店（経営者）	・大型ショッピングセンターの新規オープンに伴い販促広告が見込めるが、従来の取引先の広告需要は依然として少なく、全体としてはあまり変わらない。		
	公認会計士	・各社長の話では、マンションの売行きが下落してきている、将来の金利について不安がある、会食等の回数が減ってきているなど、景気が良くなるという判断はできない。		
	やや悪くなる	一般機械器具製造業（経理担当）	・製鉄関係の受注は落ち着き、また6月から新長期排ガス規制の対象シャーシが売り出されることから、4～5月は様子見のユーザーが増えると予想され、やや悪くなる。	
建設業（総務担当）		・今後、金融機関の金利引き上げが一層厳しくのしかかり、収益にもるに影響が出てくる。		
不動産業（経営者）		・住宅、あるいは土地・建物に対する消費者のマインドがかなり冷えてきており、しばらくこの状況が続くそうである。		
	悪くなる	-	-	
雇用 関連	良くなる	-	-	
	やや良くなる	人材派遣会社（支店長） 民間職業紹介機関（所長）	・派遣料金のアップに応じる企業が増えてきた。 ・製造業だけではなく、サ・ピス業、建設業、情報通信業も好調を維持しており、採用意欲は高く、求人数も増加している。	
	変わらない	職業安定所（職員）	・新規求人数は増加しているものの、正社員求人についてはあまり変化が無く、景気はあまり変わらない。	
		学校〔大学〕（就職担当）	・採用は持続傾向にあるが、人数はまだ少ない。	
	やや悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・6～7月に企業のボーナスが出始めるころ、ないしは出た後の人の動きに期待しているが、例年であれば大体予測ができるが、来月以降は不透明感が非常に強い。企業の積極的な採用は増えているが、派遣の利用は少し落ち着いていく。	
		職業安定所（職員）	・一部自動車関連の下請では、設備投資をし、採用の増加が見られるが、小売業やサービス、電子機器などでは縮小する動きがあり全体としては変化が無い。	
		悪くなる	-	-